

1. 略歴

- 1983年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業
1985年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程国史学専門課程修了
1987年3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程国史学専門課程中退
1987年4月 山梨大学教育学部講師（歴史学）
1990年9月 山梨大学教育学部助教授（歴史学）
1994年11月 博士（文学）
1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2002年10月-2003年2月 スイス、ジュネーブ大学招聘教授
2010年7月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本古代史

b 研究課題

古代天皇制、日唐律令制比較研究、摂関期国家の研究

c 概要と自己評価

日本古代の律令制を東アジア世界の中で位置付けることを目的とし、それにともない古代天皇制の解明、敦煌吐魯番文書の研究、摂関政治期の国制の解明を行っている。また学界の現状と課題を総括して提供することをめざし『岩波講座日本歴史』全22巻の編集を行い、2016年2月に完結した。また日本文化研究専攻の責任者として2015年3月に『日本文化研究専攻 外部評価報告書』をまとめた。

d 主要業績

(1) 著書

- 共著、大津透ほか、『岩波講座日本歴史5 古代5』、岩波書店、2015.6
共著、大津透ほか、『岩波講座日本歴史21 史料論』、岩波書店、2015.12

(2) 論文

- 大津透、「高松塚古墳随感」、『日本歴史』794、32-37頁、2014.7
大津透、「財政の再編と宮廷社会」、『岩波講座日本歴史5 古代5』、岩波書店、35-70頁、2015.6
大津透、「序論—史料論の今日的課題と成果」、『岩波講座日本歴史21 史料論』、岩波書店、1-10頁、2015.12
大津透（付晨農編訳）、「日本古代古文書学研究的進展及課題」、『中国史研究動態』2016年1期、73-81頁

(3) 解説

- 大津透、「解説」、池田温著『唐史論攷』、汲古書院、761-774頁、2014.10

(4) 学会発表

- 国際、大津透、「日本古代古文書学研究的進展及課題」、中国古文書学国際学術研討会、中国社会科学院歴史研究所（北京）、2014.10.31
国内、大津透、「藤原道長のめざした政治と文化」、第5回陽明文庫講座、立命館大学朱雀キャンパスホール、2015.2.22

(5) 座談・対談

- 大津透（司会）、尾藤正英・梅澤ふみ子・鈴木暎一・ケイトナカイ・頼祺一・戸川芳郎「学問の思い出—尾藤正英先生を囲んで」『東方学 特集座談会「学問の思い出」』、東方学会、81-122頁、2014.5
大津透・小澤毅、「古代史と考古学の対話」、『図書』788、6-13頁、2014.10

(6) 会議主催(チェア他)

- 国際、「第59回国際東方学者会議」、司会・企画、シンポジウム「律令制的人民支配の比較研究」、日本教育会館、2014.5.24、(会議記事、『東方学会報』106、17-19頁、2014.7、Chairperson's Report、『国際東方学者会議紀要』59、pp.131-136、2014.12)
国内、「第113回史学会大会古代史部会」、司会・企画、シンポジウム「摂関期の国家と社会」、東京大学文学部、2015.11.15

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本歴史学会、理事、2010.7～、理事代表 2014.9～

国内、史学会、理事、2011.5～2014.5

国内、東方学会、理事、2013.4～、常務理事 2015.6～、東方学会賞選考委員、国際東方学会者会議運営委員